

—大学院での研究活動を活かして未来への道を拓きませんか？—



法政大学 大学院

人間社会研究科 福祉社会専攻のご案内

法政大学大学院 人間社会研究科は、現代福祉学部を基礎に高度な知識と技能を有する研究教育者ならびに実践者を養成しています。福祉社会専攻では、福祉と地域づくり、さらにはソーシャルイノベーションやマネジメントなどの分野を横断的・包括的に学び、国民一人ひとりの Well-being の実現を支援することができる、高度専門職業人(ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、政策立案者、自治体職員等)と研究者の養成を目指しています。

2026年度大学院学内選抜入試

入学試験日:2025年7月2日(水)

出願期間 :2025年6月5日(木)~6月12日(木)

■希望指導教員について

・希望指導教員として指名できる(学生の受入を行う)教員は以下のとおりです。以下に名前が無い場合は受入を行いません。また、希望した教員が必ずしも指導教員とはならない場合もあります。

伊藤 正子 教授／岩崎 晋也 教授／岩田 美香 教授／高良 麻子 教授／佐藤 繭美 教授／眞保 智子 教授／岡田 栄作 准教授

・以下の教員の指導を希望する場合は、「地域創造インスティテュート(学位:修士「学術」)」に出願してください。(入試要項、出願手続きは別となります)

佐野 竜平 教授／関司 直也 教授／土肥 将敦 教授／水野 雅男 教授／野田 岳仁 准教授

■こんな人におすすめします

- ・高度な専門性を身につけ、視野を広げたい。
- ・学部の学びを深めて将来のキャリアに生かしたい。
- ・政策提言の説得力を高めたい。

■社会で役立つ高度なスキルが身につきます

- ・論文作成、専門書や文献の読解、指導教員とのコミュニケーションにより多様かつ高度なスキルが磨かれます(論理的思考能力、プレゼンテーション能力、分析力、読解力、語学力、文章表現力、コミュニケーション能力など)。

■国際的視野で専門性を磨くチャンスです

- ・本学大学院には、派遣留学制度と独自の留学制度の2つがあります。前者は本学と協定を有する外国の大学が対象で、学業成績が優秀で高い外国語能力を持ち、かつ留学に強い意志を持った学生を海外の協定大学へ派遣する制度です。派遣留学生に選ばれると留学先大学での学費が免除となります。後者は学生の申請に基づき大学が認めた大学及びその研究機関への留学が可能です。採用者には留学期間に応じ、上限 200 万円(留学期間:1 年間)または上限 100 万円(留学期間:6 ヶ月間)が給付されます。人間社会研究科には現地とネットワークを持つ教員もいて、様々な可能性が広がっています。在籍しながら海外に留学し、国際的視野で専門性を磨くチャンスです。

■学内選抜試験のメリットとは

- ・学部時代に繋がりを築いた先生方から多面的にアドバイスを受けることができるため、研究がより豊かなものになります。

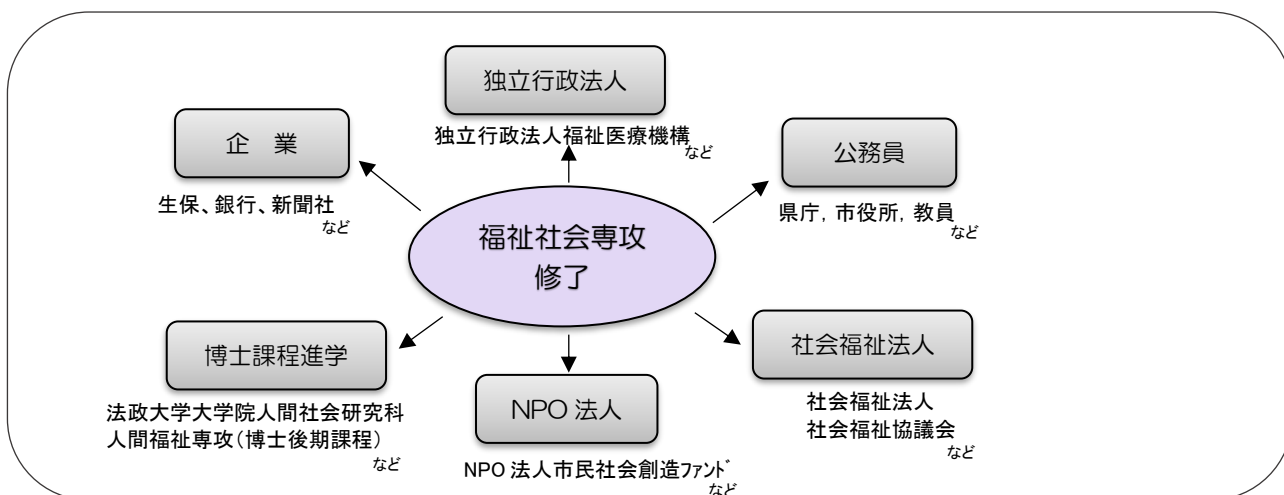
- ・学内選抜試験による選考方法は書類選考及び口述試験(面接)のみです。これに比べて、一般入学試験の場合は専門科目、英語、口述試験(面接)を受験することとなります。少ない受験科目で大学院進学に挑むことができることは学内選抜試験の最大のメリットといえるでしょう。
- ・**法政大学出身者は入学金(200,000 円)が免除となります。**(※ただし、地域創造インスティテュートに入学の場合は、入学金が発生します。)

■市ヶ谷キャンパス開講・土曜日開講科目が増えました

- ・市ヶ谷で受講できる科目・土曜日に受講できる科目が増えました。都合に合わせて履修計画を立てることで、従来より少ない通学の負担で修了を目指すことができます。

■修了者の進路

- ・修了した方々は大学院での豊かな経験を活かし、専門的な知識とスキルを身につけ様々な進路をとっています。近年の具体的な進路実績をまとめました。また、専攻には就職をしながら研究活動を行い、研究の成果を仕事に活かされている方もいます。



修了生の声 わたしたちは現代福祉学部から大学院へ進学しました！



2023年度修了 洞口 愛里さん

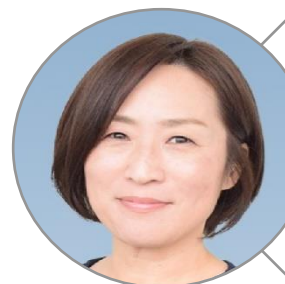
私は自分の考えを話すことに苦手意識があり、それを克服したかったため院進学を選択しました。そして、大学生時代にお世話になった信頼できる先生方がいるため、この大学を選びました。今、大学院という新しい環境の中で、不安なことが沢山あるけれど、すぐに頼れる先生方が近くにいるので、とても心強いです。また、私の研究のテーマは、元々ぼんやりとしか決まっていなかったのですが、先生がそれを実現させる方法と一緒に考えてくれたことで、少しずつ方向性が掴めています！このように、やりたいことさえあれば、先生方は助けてくれます！少しでも院進学を考えている方がいたら、ぜひ検討してみてください！！



2016年度修了 安西 美咲さん

今、進路に悩んでいる方も多いかもしれません。私自身、最後まで就職か進学か悩みましたが、「今しかできないことを！」と考え、大学院への進学を選びました。つい、「目先のこと」や「人と同じこと」を選択してしまいがちですが、「人とは違う、少し遠回り」をしたからこそ得られるものが多くあったと実感しています。修士論文を書くことで得られた文章力、研究をすることで身についた物事の捉え方・考え方、そして遠回りしたからこそできた友人や先生方との繋がりは、今では私の大きな財産になっています。大学院は、社会に出るという自分の将来に向けて、選択肢の幅を広げるチャンスになるはずです！

いくつになっても新たな知見が得られる。社会人も満足いく学習環境



2024年度修了 田中 香さん

前職は公務員で、福祉行政に長く携わり、様々な専門職や地域の関係者と支援を行う中で、地域の多様な主体との協働に関心が強くなりました。本専攻ではソーシャルワークだけでなくコミュニティ領域も含めて学べることから、福祉制度の狭間や福祉周辺領域と融合した研究など、学問の広がりを期待して志望。総合大学ならではの充実した蔵書や設備、多様な研究科の院生との交流にも恵まれ、視野が広がっています。